

Microsoft Teams を使った 高校数学オンライン授業づくり

木下 卓海 京都府立山城高等学校

背景

- ・ 新型コロナウイルス感染症により出席停止となる生徒の増加、生徒一人一人の学びを保障するための対応が求められる
- ・ 京都府から生徒たちにMicrosoftのアカウントが発行された

目的

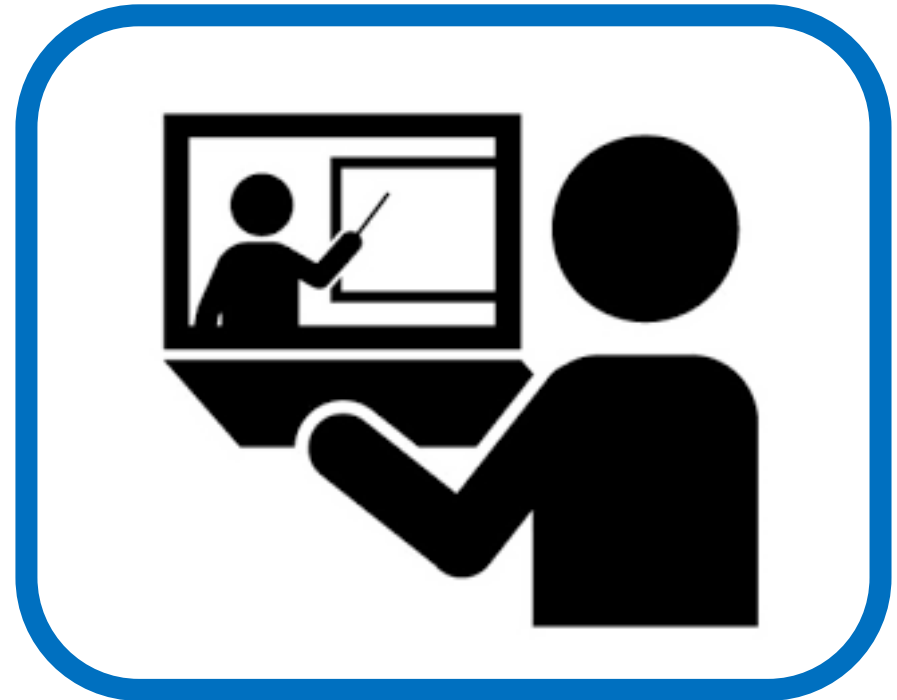
Microsoft Teams の「会議」機能を用いてオンライン授業を実施することにより、自宅からでも授業を受けられる環境を作り生徒の学びを保障する。

ハイフレックス型授業

対面、同期オンラインが提供され、生徒が学校・自宅を問わず授業を受けることができる形態



学校で授業を受ける



自宅で授業を受ける

Microsoft Teams を用いた授業の実施方法

事前準備

1. 担当講座の「チーム」と「チームコード」を作成する。
2. チームコードを生徒に入力させ、チームに参加させる。

授業時

3. 「会議」を開始し、授業を行う。
4. 「チャット」機能で、氏名を入力させ出席を確認する。

※₁ 配布プリント等は、事前にデータをアップロードしておく

※₂ 「課題」機能から生徒に課題を提出させることも可能

資料の配付

検索

数 一般 投稿 ファイル 十

会議 (一般) は終了しました: 16 秒

↓
参加者のレポート
出席者レポートをダウンロードするには、ここをクリックしてください

返信

"一般" で会議中 は終了しました: 22 秒

返信

木下 山城高校教職員076 10:46
次回授業のプリントです。確認してください。

関数.pdf

返信

新しい投稿

1 分数関数

$y = \frac{2}{x}$, $y = \frac{2x-5}{x+1}$ のように、 x についての分数式で表された関数を、 x の分数関数 という。

特に断りがない場合、分数関数の定義域は、分母を 0 にする x の値を除く実数全体である。

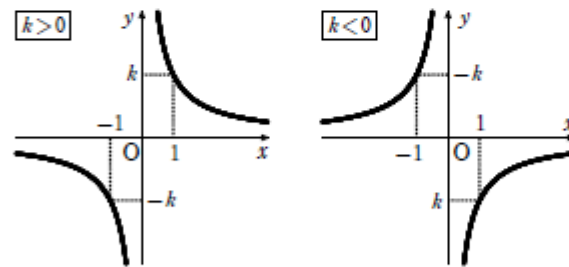
A $y = \frac{k}{x}$ のグラフ

k を 0 でない定数とすると、分数関数

$$y = \frac{k}{x} \quad \cdots \cdots \textcircled{1}$$

の定義域は $x \neq 0$ であり、値域は $y \neq 0$ である。また、そのグラフは、下の図のように、 $k > 0$ ならば第 1, 第 3 象限にあり、 $k < 0$ ならば第 2, 第 4 象限にある。

曲線①は原点に関して対称である。また、その漸近線は x 軸と y 軸であり、2つの漸近線は直交する。なお、曲線①は直角双曲線である。



練習 1 次の関数のグラフをかけ。

- (1) $y = \frac{1}{x}$ (2) $y = \frac{2}{x}$ (3) $y = -\frac{3}{x}$ (4) $y = \frac{1}{2x}$

ハイフレックス型授業における課題と成果

- ・こちらから生徒の様子を把握することが難しい
- ・双方向のコミュニケーションをとることが難しい
- ・PC、タブレット、プリンターなどの機器を所持していない生徒に対する拜領が必要である

- ・同期オンライン授業は、オンデマンド授業と比べ授業に参加しているという意識が強く、学習意欲が高まる。